

【ワークシート①】

どうして税金に種類があるの？税金は何のために必要なの？「公平」な負担とは？

内容(質問)	回答(ここに書いてね！)	内容(質問)	回答(ここに書いてね！)																														
<p>① どんな税金を知っていますか？ ※税について、学習のふりかえりしましょう！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ヒント！】 日本には何種類の税金があるのかな？</p> </div>	<p>※知っている税金に○をつけてください。 所得税・消費税・自動車税 (知っているその他の税金の名前を下に書いてね！)</p> <p style="text-align: center; color: red;">【答えは、裏面を見よう!!】</p>	<p>③ みなさんはメタバタウンの住人です。 メタバタウンには家が4軒あり、町の真ん中を町が管理する川が流れています。 行き来には渡し船を使っていますが、雨で増水すると運航できず不便でした。 今回、【メタバタウンの全ての住人の希望】により橋を建設することになりました。橋の建設費用は400万円です。 どのように負担すればいいと思いますか。</p> 	<p>【重要】 グループワークの準備運動です！ 質問内容と条件をもとに公平な負担方法を考えてみよう。</p> <p style="text-align: center;">各家の家族構成・所得・使用回数が同じ場合</p> <p style="text-align: center;">※正解はありませんので、自由に考えてみましょう！</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>家族</th> <th>所得</th> <th>使用回数</th> <th>負担金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A家</td> <td>4人</td> <td>500万円</td> <td>月10回</td> <td style="background-color: yellow;">万円</td> </tr> <tr> <td>B家</td> <td>4人</td> <td>500万円</td> <td>月10回</td> <td style="background-color: yellow;">万円</td> </tr> <tr> <td>C家</td> <td>4人</td> <td>500万円</td> <td>月10回</td> <td style="background-color: yellow;">万円</td> </tr> <tr> <td>D家</td> <td>4人</td> <td>500万円</td> <td>月10回</td> <td style="background-color: yellow;">万円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合 計</td> <td>400万円</td> </tr> </tbody> </table>		家族	所得	使用回数	負担金額	A家	4人	500万円	月10回	万円	B家	4人	500万円	月10回	万円	C家	4人	500万円	月10回	万円	D家	4人	500万円	月10回	万円	合 計				400万円
	家族	所得	使用回数	負担金額																													
A家	4人	500万円	月10回	万円																													
B家	4人	500万円	月10回	万円																													
C家	4人	500万円	月10回	万円																													
D家	4人	500万円	月10回	万円																													
合 計				400万円																													
<p>② 税金って何のために必要なの？ ※税について、学習のふりかえりしましょう！</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ヒント！】 日本の救急率は搬送料金が無料です。</p> </div>	<p style="text-align: center; color: red;">【答えは、裏面を見よう!!】</p>																																



(授業実施時の説明内容を表示)

【2分程度】 (P1～3)

みなさんこんにちは。

今日は、税金について、みなさんと一緒に勉強していきたくと思いますので、よろしくお願ひします。

それでは、「講義用テキスト」を開いてください。

みなさんには、「ワークシート①」を事前に御覧いただいていると思います。

【次のスライドへ】

①どんな税金を知っていますか？ ⇒【答え】日本の税金は約50種類

国税
23
消費税 所得税 復興特別所得税 法人税 地方法人税 相続税 贈与税
酒税 印紙税 たばこ税 たばこ特別税 航空機燃料税 石油ガス税
石油石炭税 自動車重量税 関税 とん税・特別とん税 電源開発促進税
国際観光旅客税 登録免許税 揮発油税 地方揮発油税

地方税
23以上
地方消費税 事業税 市町村民税 不動産取得税 固定資産税 都市計画税
事業所税 特別土地保有税 水利地益税 県民税(長野県森林づくり県民税)
県たばこ税 市町村たばこ税 共同施設税 軽油引取税 入湯税
ゴルフ場利用税 自動車税 軽自動車税 宅地開発税 狩猟税
国民健康保険税 鉦産税 鉦区税など


②税金って何のために必要なの？ ⇒【答え】私たちが豊かで安全に暮らすための「会費」のようなものです。

もしも税金がなかったら？

国や地方公共団体では、私たちが健康で文化的な生活をおくるために、個人ではできないさまざまな仕事を行っています。これらの仕事をするためには、多くの費用(財源)が必要です。そのために、みなさんから「税金」という形で負担してもらいます。もし「税金」がなかったらどうなるでしょう。道路は穴だらけ、街にはごみがあふれているといったことになりかねません。そうなる一番困るのは私たち自身です。

例えば・・・
【税金で道路を補修する】

安全



【2分程度】 (P1～3)

事前学習では、「日本には税金の種類が約50種類あること」や「税金は私たちが豊かで安全に暮らすための『会費』のようなもの」だということを確認してもらいました。

③のメタバタウンの事例では、「各家の公平な負担方法」を考えてもらいましたが、みなさんどのように考えたでしょうか。

【次のスライドへ】

租 税 教 室

【学習のポイント!!!】

公平な税の集め方

～税金の種類がたくさんあるのはなぜ?～

※グループワークをとおして、みんなで考えましょう!



【2分程度】（P1～3）

みなさんは、小学校や中学校の授業で税金について勉強してきたと思いますが、今日はその税金についてもう少し深く考えてもらいたいと思います。

まずは、学習のポイントを整理します。

「公平な税の集め方、税金の種類がたくさんあるのはなぜ?」です。

つまり、今日は「税を集めるときの公平とは何か」についてグループワークを通じて皆さんに考えてもらいます。

その後、日本の税金の仕組みや税金の使いみちをどうやって決めているかについて学習してもらいます。

【次のスライドへ】

公平な税の集め方

～税金の種類がたくさんあるのはなぜ？～

【公平な負担を考えてみよう!!】

友だち3人で食事に行きました。みんなで【1枚のピザ】を分け合って食べたとき、食事代の支払いはどのように負担しますか。

なお、食事代金の合計は4,500円で、3人のお小遣いはそれぞれ違います。

	お小遣い	食べた量	負担する金額
Aさん	10,000円	少ない	
Bさん	3,000円	たくさん	
Cさん	2,000円	中くらい	

【回答例】

- ① 3人で均等に割って支払う。
- ② たくさん食べた人は多く、少ししか食べていない人は少なく支払う。
- ③ お小遣いをたくさん貰っている人は多く、あまり貰っていない人は少なく支払う。



どの方法でも『公平』のようですが、1つの方法では完全な『公平』にならないのです。

税金も1つの方法で課税したのでは、完全な『公平』にはなりません。税負担の『公平』を確保するために、税の性格に応じた適切な課税方法を採用して、所得課税、消費課税、資産課税等をバランスよく組み合わせるという工夫が行われています。

【5分程度】 (P4～5)

それでは「公平な負担」についての基本的な考え方を説明します。

この図は、ワークシート①の「メタバタウンの橋の建設費用の負担方法」を「友達との食事代金の支払方法」に置きかえたものとなります。

友達3人で、ファミリーレストランで一枚のピザを食べました。

Bさんが一番多く食べました。

誰がいくら支払うのが公平だと思うますか？

ちなみに、お小遣いを一番もっているのはAさんです。

みなさんも友達と一緒にファミリーレストランへピザを食べに行ったことを想像してみましょう。

さあ、それぞれの立場になって負担する金額を考えてみてください。

(少し間を開ける・・・問いかけてみる・・・など)

パッと思いつく方法として、スライドの真ん中にある【回答例】を見てください。

①「3人で均等に割って支払う」は3人とも同じ金額を負担する考え方です。

②「たくさん食べた人は多く、少ししか食べていない人は少なく支払う」は、すなわち、食べた量に応じて負担する金額が異なってくる考え方です。

この場合には、一番たくさん食べたBさんに多く負担してもらいます。

③「お小遣いをたくさんもっている人は多く、あまりもっていない人は少なく支払う」場合は、Aさんが一番多く負担してもらうという考え方です。

例として3つでしたが、「公平」については色々な考え方があると思いますので、スライドの塗りつぶしの部分を見てください。
(読み上げる)

※必要に応じて補足説明

(例えば、前提としてAさんがどうしても食事に行きたいと言い出した場合であれば、基本的には、わり勘にするけれどAさんに少し多く負担してもらおうという考え方もあると思います。この場合、全員が一律1,000円を負担することとし、残りの1,500円はAさんの負担とするなど、①の【均等に負担する考え方】と③の【お小遣いの大小に応じて負担する考え方】を組み合わせ、より公平な負担となるようにバランスをとるという方法になりますね。)

1つの方法では、どこかに不公平が生まれてしまうことが多いということです。「バランスが大切」ということですね。

【次のスライドへ】

(参考資料) 税金の種類や集め方について

○ ワークシート①の裏面に表示のスライド(事前配付)

いろいろな税金の集め方

- ① 同じ金額で平等に集める方法
消費税
- ② 特定の人から集める方法
固定資産税 自動車税 酒税 たばこ税
- ③ 同じ率(%)で集める方法
法人税
- ④ 負担する能力(財力)に応じて集める方法
所得税 相続税 贈与税

累進課税制度

累進課税制度は、所得が多いほど税率が高くなる税金のしくみで、日本では、所得税のほか相続税や贈与税もこのしくみです。この制度は、**支払い能力に応じて税金を負担してもらおうとするものです。**
これとは逆に、消費税のように税率が一定の税金もあります。

例えば、夫婦と子ども2人(うち1人は16歳:1人は20歳)の勤め人の所得税(令和4年分、復興特別所得税を含む)は・・・

Aさん	年収	500万円
	所得税	5万円
Bさん	年収	2,000万円
	所得税	342万円

同じ家族構成でも、年収500万円の場合の税額は5万円ですが、**年収が2,000万円で4倍になると、税額は342万円で約68倍になります。**

①どんな税金を知っていますか? ⇒【答え】日本の税金は約50種類

②税金って何のために必要なの? ⇒【答え】私たちが豊かで安全に暮らすための「会費」のようなものです。

国税 23

消費税 所得税 復興特別所得税 法人税 地方法人税 相続税 贈与税 酒税 印紙税 たばこ税 たばこ特別税 航空機燃料税 石油ガス税 石油石炭税 自動車重量税 関税 とん税・特別とん税 電源開発促進税 国際観光旅客税 登録免許税 揮発油税 地方揮発油税

地方税 23以上

地方消費税 事業税 市町村民税 不動産取得税 固定資産税 都市計画税 事業所税 特別土地保有税 水利地益税 県民税(長野県森林づくり県民税) 県たばこ税 市町村たばこ税 共同施設税 軽油引取税 入湯税 ゴルフ場利用税 自動車税 軽自動車税 宅地開発税 狩猟税 国民健康保険税 鉦産税 鉦区税など

もしも税金がなかったら?

国や地方公共団体では、私たちが健康で文化的な生活をおくるために、個人ではできないさまざまな仕事を行っています。これらの仕事をするためには、多くの費用(財源)が必要です。そのために、みなさんから「税金」という形で負担してもらいます。もし「税金」がなかったらどうなるでしょう。道路は穴だらけ、街にはごみがあふれているといったことになりかねません。そうなる则一番困るのは私たち自身です。

例えば・・・
【税金で道路を補修する】
安全

【5分程度】(P4~5)

次に、税金の種類や集め方について説明します。

スライドの左側の「いろいろな税金の集め方」を見てください。

ここでは、「いろいろな税金の集め方」として、今日のグループワークの参考になるような、日本の税金の代表的な集め方が4つ記載してあります。

ここで、④の集め方の中で代表的な税金である「所得税」について少し説明します。

「所得税」は、お給料から差し引かれたり、個人で商売をしている人の儲けに応じて負担するものです。

ようするに、所得税については、【儲かった分】というところがポイントです!

一般的に、貰った金額よりも支払った金額の方が多く赤字になってしまった場合に、「儲かった」と言いますか?

(問いかけ、反応を伺う)

赤字だった場合には、「儲かった」とは言いませんよね。

【所得金額】とは、支払った金額よりも貰った金額の方が多くて、結果として黒字になった場合の【儲かった分】のことです。

その「所得税」の集め方として採用されているのが、となりの表にある「累進課税制度」ですね。

この制度は、世界でも多くの国で採用されている制度です。

アンダーラインの部分を見てください。

(読み上げる) 「支払い能力に応じて税金を負担してもらおうとするもの」です。

次に、青い囲みを見てください。

AさんとBさんは家族構成が同じですが、Bさんの年収がAさんの4倍の場合、Bさんの税金は4倍ではなくAさんの約68倍となっていますね。

これは、単に同じパーセンテージで税金を計算するのではなく、儲けが増えれば増えるほど、税金を計算するパーセンテージが上がっていくためです。

これが、左側の図④の「負担能力に応じて集める方法」になります。

もしも、税金が「所得税」しかなかったら、Bさんは自分ばかり多く支払うのは不公平だと感じることもあるかもしれません。

先ほどのピザの事例でも色々な負担方法があったように、税金の制度でも公平に税を負担してもらうために、日本には性格が異なる約50種類の税金があります。

【次のスライドへ】

これから、 グループワークをはじめます！

テーマは、「公平な税の集め方」です。
正解はありません。

ワークシート②のパターン2・3について、グループに分かれて意見交換をしましょう。

各グループでまとめたパターン3の討議結果を代表者に発表してもらいます。



【2分程度】（P6～7）

それでは、これからグループワークを始めます

今回のテーマは、「公平な税の集め方」です。負担方法に、正解があるわけではありません【重要】。



【ワークシート②】

「公平」な税の集め方(負担方法)とは？

前提条件

みなさんはメタバタウンの住人です。メタバタウンには家が4軒あり、町の真ん中を町が管理する川が流れています。

行き来には渡し船を使っていますが、雨で増水すると運航できず不便でした。

今回、【メタバタウンの全ての住人の希望】により橋を建設することになりました。

橋の建設費用は400万円です。どのように負担すればいいと思いますか。

【パターン1】(参考)
各家の家族構成・所得金額・使用回数が同じ場合
※「ワークシート①と同じ」

(ヒント) 4軒とも同じ条件だから、公平に負担すると…

家族	所得金額	使用回数	負担金額	
A家	4人	500万円	月10回	100万円
B家	4人	500万円	月10回	100万円
C家	4人	500万円	月10回	100万円
D家	4人	500万円	月10回	100万円
合計				400万円

【討議】パターン2

各家の所得金額(もうけ)が異なる場合

(ヒント)
所得金額によって負担する金額を変えてみよう

家族	所得金額	使用回数	負担金額	
A家	4人	1,000万円	月10回	万円
B家	4人	600万円	月10回	万円
C家	4人	300万円	月10回	万円
D家	4人	100万円	月10回	万円
合計				400万円

【討議】パターン3

※グループ発表あり

各家の所得金額(もうけ)と橋の使用回数が異なる場合

※グループの意見を集約し、「負担金額」を記入しましょう!

(ヒント)
いくつかの負担方法を組み合わせる方法も考えてみよう!

家族	所得金額	使用回数	負担金額	
A家	4人	1,000万円	月0回	万円
B家	4人	600万円	月10回	万円
C家	4人	300万円	月10回	万円
D家	4人	100万円	月20回	万円
合計				400万円

※グループ意見の考え方(各要素の考慮度合)は、下の図のどの辺に位置しますか? ※O印で表示しましょう!

※正解はありません、自由に考えてみましょう!

年 組



【2分程度】(P6~7)

状況を整理します。左上の絵を見てください「メタバタウンには家が4軒あり、町の真ん中を町が管理する川が流れています。今回メタバタウンの4軒全ての住人の希望により橋を建設することとなり橋の建設費用には400万円が必要となります。

どのように負担するのが「公平」かという事例になります。

実際に自分たちが住んでいる街をイメージして考えてみましょう。

事前にご覧いただいたワークシート①では、右上に記載の「パターン1(参考)」のように、すべての条件が同じ場合どのように負担するかを考えてもらいました。回答例として、各家とも一律に100万円ずつ負担するのが公平と考えた場合を表示しています。

これから考えてもらう、

「パターン2」は、「所得金額(儲け)」が異なる場合。

「パターン3」は、「所得金額(儲け)」と「使用回数」が異なる場合となります。

これから、「パターン2」と「パターン3」について、グループに分かれて自由に発言し、グループの意見をまとめてもらいます。

「パターン3」については発表してもらいますので、各グループの討議結果を

回答様式に入力してください。

グループワークの時間は、今から10分（適宜設定）となりますので、〇時〇分までとなります。

それでは、グループに分かれて、はじめてください。

【12分間】（グループワークスタート後）

回答様式は、共同作業用になっているので、自分の班にあてはまるアルファベットが表示されているシートへ入力してください。

〇クラス分入っているので入力グループの誰か一人が行ってください。

なお、発表用紙の右下に「円グラフ」がありますので、自分のグループの討議結果がどの要素をどの程度考慮したのか、その考慮度合に応じた円グラフの位置にニコチャンマークを動かしてください。

発表者も決めてください。

発表者の方には「なぜそうだったかの理由」も一緒に発表してもらいますので、理由欄へもできる限り入力してください。

【スタート時】

まず「パターン2」について、3分程度で簡単にまとめて、その後「パターン3」の討議を始めてください。正解はありませんから自由に考えてみてください。

【2分経過時】

「パターン2」をまとめてください。

【3分経過時】

3分経ちましたので、「パターン3」の討議を始めてください。

ポイントとしては、「橋の建設は4軒全ての住人の希望である」ということです。

【8分経過時】

残り2分です、「パターン3」をまとめ始めてください。

グループ名も自由に決めて記載してください。

円グラフのニコチャンマークも忘れずに動かしてください。

【10分経過時】

意見がいろいろあると思いますが、まだ入力していないグループは、グループとしての意見をまとめて入力してください。

（この間に、講師と教員で協力し、発表グループを決定する。）

【12分経過時】

それでは終了です。

発表者を決めます。

〇組〇グループ、〇組〇グループ、〇組〇グループです。

発表グループは、各教室のカメラ前に集まって準備してください。

先生は、カメラの向き調整と発表グループの資料をクラスの画面に映す準備をお願いします。

発表する教室は、資料を画面に映し、そうでない時は、全体の画面を表示します。

発表を始めます！○組の「○○（チーム名）」からお願いします。

（設営を待つ）

それでは、理由も含めて説明をお願いします。

【次のスライドへ】

グループワーク

発表 パターン3



【10分程度】

【各講評】

各クラス発表は（順番）○組→○組→○組とします。

（各クラス発表）

（発表内容へ問いかけ）

例）考慮したのはどのような要素ですかなど・・・

（発表内容に対する講評）

例） 「○グループ」は、「所得金額」と「使用回数」と「○○」という要素を組み合わせることでバランスを取って負担金額を決めてもら

いました。特に「○○」の要素を最も考慮しているようですね。

Aさんは、自分では橋を使わないかもしれませんが、消防車や郵便局、友達が橋を渡って訪ねてきたりする場合もあるか

もしれませんよね・・・など

ありがとうございました。（グループの発表ごとに拍手）

※複数の要素を考慮したグループ発表については、「円グラフ」に基づき、どの

要素を最も考慮したかなどについて質問や補足説明を加える。

【グループワーク全体の講評】

各グループとも、一生懸命考えて発表してくれましたね。

各グループで考えた税金の集め方は、どれも公平な考え方だったと思います。

発表者の方もとても分かりやすく説明してくれてありがとうございました。

公平な税金の集め方の考え方には、いろいろな考え方があると感じたと思います。

今、みなさんが考えてくれたように、日本には公平に税を負担してもらうために、集め方が異なる約50種類の税金があるのでしたね。

【次のスライドへ】

模擬選挙

さあ、各クラスの代表者（発表者）が選挙に立候補しました、各クラスが「政党」、発表内容が「政党の公約」だとした場合、あなたの1票はどのクラスの候補者に投票しますか??

1組、2組、3組・・・
私はあの候補者へ!



「アンケートフォーム」 を開いて投票しましょう!!

【3分程度】

さて、各グループの発表を聞いてみて、みなさん一人一人はどう考えたでしょうか？

もう一回メタバタウンについて想像してみてください。

橋の建設費用を公平に負担する方法として、個人ではどの方法に共感したか、町で必要なお金の集め方を、どのグループに任せたいかイメージしながらアンケートフォームを使って投票してみましょう。

今から1分間をお願いします。はじめてください。

(投票)

(開票)

「投票結果は、ご覧のとおりでした・・・今回グループごとに話し合い、考え方をまとめた内容を各クラスの代表として発表してもらいましたが、実は先生が、考え方の異なるグループを選んで発表してもらいました。

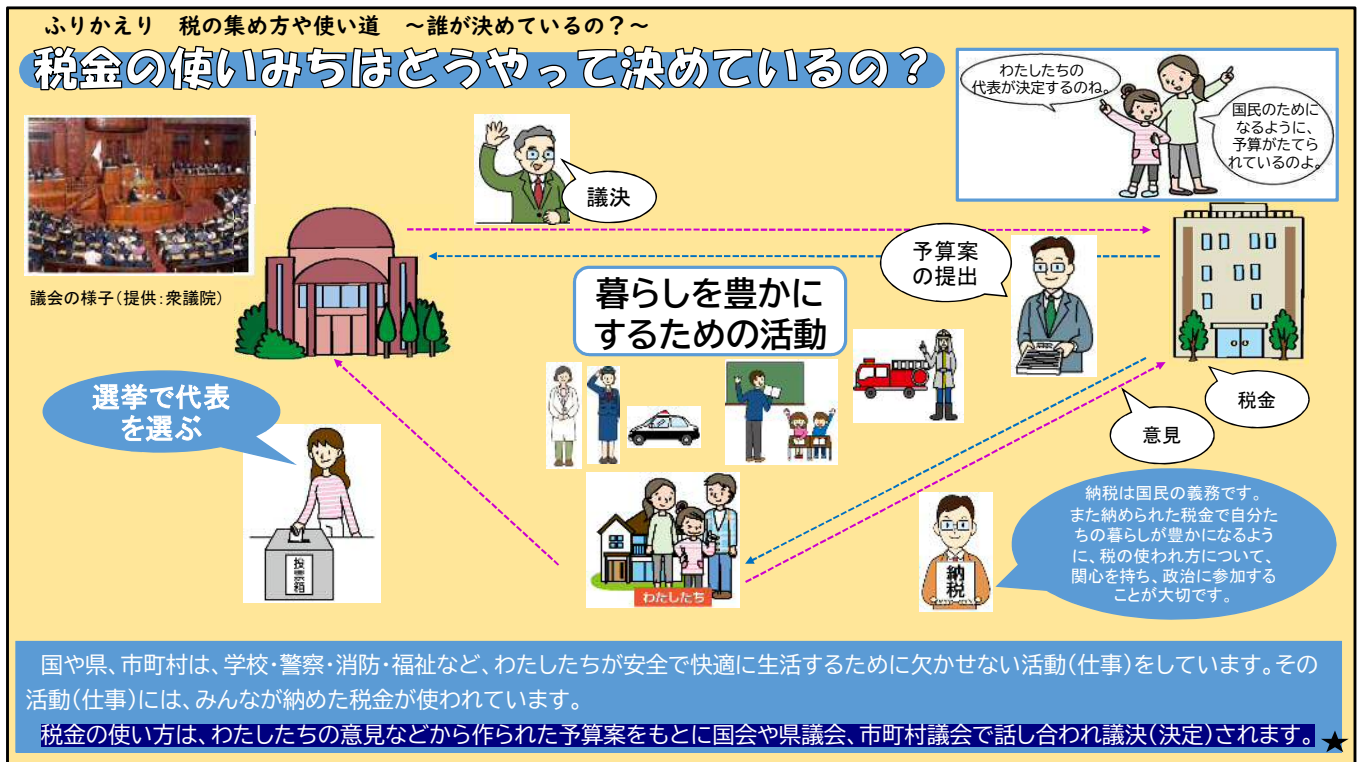
実際は、一つのクラスの中でも、ほかのグループの考え方はそれぞれ異なっていることが多かったですね。

「公平」についての考え方は各グループでも異なるように、一人一人の考え方も

それぞれ異なっているということですね。

日本の「選挙」は、多数決でみんなが国民の代表者を選び、みんなの意見を政治に反映させるためのものです。今、投票先を選んだ時・・・考えたように、18歳になったら、一人一人が国の政治に関心を持って、出来るだけ、それぞれの代表者の考えを理解しながら選挙を行ってくださいね。」

※一人一人の考えは異なるため、正解は一つではないということを補足する。



【4分程度】 (P10~12)

今グループで行ってもらった討議は、社会の授業で習った日本の制度に似ていませんか？税金の集め方を話し合う会議・・・

(問いかける)

そう！国会などの議会です！

議会では、選挙で選ばれた代表者が話し合いを行っていろいろなことを決定しているのではね。

今日のグループワークでも、代表者にグループの意見を発表してもらいました。

先ほど、みなさんに投票してもらいましたが、選挙で誰に投票するのかを決めるときもこのようなイメージではないでしょうか？

スライドの一番下の濃い塗りつぶし部分を見てみましょう。

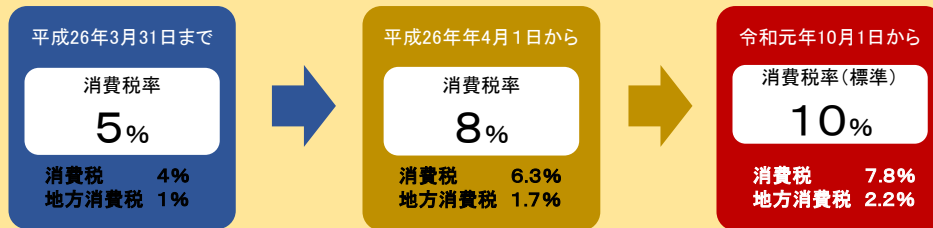
(読み上げる) 「税金の使い方は、私たちの意見などから作られた予算案をもとに国会や県議会、市町村議会で話し合われ決定されます。」

そして、日本では、税の公平な負担方法や使いみちについて議会で決定された法律に基づき、みんながそのルールに従って税負担をする仕組みとなっています。

【次のスライドへ】

消費税率の引き上げと使いみち

消費税の標準税率は、令和元年10月から10%（消費税7.8%、地方消費税2.2%）になりました。
消費税率の引き上げによる増収分は、すべて社会保障の財源とされ、社会保障制度を安定させ、さらに充実するために使用されています。
 少子高齢化がすすんでも、世代を問わず一人ひとりが安心して暮らせる社会を実現するために、消費税率の引き上げが実施されたのです。



なぜ、消費税なの？

- 景気や人口構成の変化に左右されにくく、**税収が安定している**
- 働く世代など**特定の人に負担が集中することなく、経済活動に中立的**
- **高い財源調達力**がある

社会保障の財源を調達する手段としてふさわしい税金です。



※議会で、決められた税の負担方法や使い道の一例として説明。

【4分程度】 (P10~12)

みなさんが納めている消費税は、新しい税金の集め方として国会で決定されて平成元年に3%から始まり、令和元年に10%に引き上げられました。

消費税は、医療や年金、介護など「暮らしを支えるための社会保障の財源を調達する手段」として国会でその使い道を決定して引き上げられました。

「なぜ消費税なの？」ということについては、下に書いてある3つの理由、①税収が安定している②特定の人に負担が集中することなく経済活動に中立的である③高い財源調達力があるからです。

みなさんも消費税を納めている立派な「納税者」です。

みなさんも18歳になれば選挙権を持つこととなりますので、自分が払った税金が議会でどのように決められて、社会の中でどう使われているのか・・・これからさらに興味をもって頂きたいと思います。

【次のスライドへ】

「税金」は「公共財（公共施設や公共サービス）」の費用を負担するもの。

「税負担の公平」を確保するために集め方が異なる税金を組み合わせている。

★

【4分程度】（P10～12）

【まとめ】

最後に、これからみなさんは、大人になっていくにつれて、少しずつ税金にかかわる機会が増えていくと思います。

将来、みなさんがすこしでも納得して納税できるように、今日の授業をとおして税金の集め方や使われ方について今までよりさらに理解を深めていただきました。

「税金」は、私たちが豊かで安全に暮らせる社会とするための公共施設や公共サービスなどの公共財の費用を負担するためのものです。

そのため、「税負担の公平」を確保するために集め方の異なる税金をバランスよく組み合わせているということを忘れないでくださいね。

それでは、今日の授業はこれで終わりになります。
ありがとうございました。

税のしくみや使いみちを知ろう

国税

所得税

会社などで働いている人は、給料から差し引かれます。差し引かれた税金は会社などがまとめて納めます。
農業をしている人や商売をしている人は、1年に1度自分の税金を計算して納めます。



法人税

会社も税金の額を計算して納めます。



消費税

●たばこ税 ●揮発油税
買い物をしたときに支払った消費税は、お店などがまとめて納めます。



地方税

- 県民税
- 事業税

自動車税 (種別割)

車を所有している人が納めます。



土地や家をかかった人が納めます。

不動産取得税

市町村民税



固定資産税

土地や建物を所有している人が納めます。

直接税

税金を負担する人が直接国や地方公共団体に納める税金

地方消費税

消費税10%のうち、7.8%分が国税、2.2%分は地方消費税として納めます。



●県たばこ税

●市町村たばこ税

温泉に入ったときに支払った入湯税は施設がまとめて納めます。

入湯税



間接税

実質的に税金を負担する人として納める税金

税務署(国税)

1年間に国に納められる税金
約65兆2,350億円
(令和4年度当初予算)



I 県(県税)

1年間に県に納められる税金
約3,981億円
(令和4年度当初予算)



県内の各市町村(市町村税)

1年間に市町村に納められる税金
約4,355億円
(令和4年度当初予算)



— 税についてインターネットで調べてみよう —

・財務省 <https://www.mof.go.jp> ・国税庁 <https://www.nta.go.jp> ・各県市町村のホームページ

(参考資料)

※残り時間等に活用

身近な税の使いみち

平等な教育のために

私たちが平等に教育を受けられるように、教育費には多くの税金が使われています。皆さんが学校で使っている教科書や机、いすの購入、校舎の建設や修理も、多くの人が納めた税金によりまかなわれています。

公立学校の児童・生徒一人あたりの年間教育費

※ 私立学校では、税金により教材費などの一部が補助されています。

(令和元年度)



小学生

約928,000円
〔1か月あたり
約77,300円〕



中学生

約1,091,000円
〔1か月あたり
約90,900円〕
〔1日あたり
約5,400円〕



高校生

約1,061,000円
〔1か月あたり
約84,700円〕

※ 1日あたりの金額は年間登校日数を年間200日として計算しています。

学校の校舎等にかかる費用

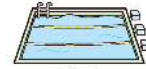
校舎や体育施設の建設のための費用として1年間に743億円が使われます。(令和4年度予算)



校舎



体育館



プール

義務教育諸学校の児童生徒が使用する教科書を無償配布するための費用として1年間に460億円が使われます。(令和4年度予算)



(参考資料)

※残り時間等に活用

○国税庁ホームページ

【授業や家庭学習用のコンテンツ】



動画①



【ご案内します アナザーワールドへ】

このビデオは、みなさんがこれからどうい社会に暮らしたいかなどを考えるきっかけにもらえるよう、日本の財政や税のしくみを学習できる内容となっています。(16分)

(あらすじ)

若いのに悪癖っぽい会社員とソフトな物腰の影に悪魔のような冷たさを漂わせる謎の紳士。謎の紳士が会社員を導いた世界とは一体…。



動画②



【暮らしを支える税を学ぼう】

この番組は、学校教育の中で租税の意義や役割などを考えるきっかけとなるような内容になっています。(11分)

中学生の主人公・吉村唯(よしむら ゆい)は、担任の先生から税務署の社会見学で「税金」について質問するよう頼まれるも、どうしたら良いか分からず、同級生の山田君に相談する。そして、税の役割やしくみを母親や山田君と協力しながら学んでいく…。

○財務省ホームページ



ゲーム



アクセスは、
二次元コードを読み取り
又は
ホームページを検索



国税庁ホームページ 財務省ホームページ

「税の学習コーナー」 「キッズコーナー」



学校での授業や家庭学習で活用していただけるコンテンツとして制作しています。

【リンク先】 URL① [税の学習コーナー | 国税庁 \(nta.go.jp\)](http://nta.go.jp) URL② [キッズコーナー: 財務省](http://www.mof.go.jp)

(参考資料)
※残り時間等に活用